

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.34) 2011.7.12

もくじ

1. 5 月度 (1) Abiesボランティア活動
森林博物資料館研修と清掃、春の研修会の聴講
2. 5 月度 (2) Abiesボランティア活動
猪ノ川林道 自然観察会
3. 6 月度 Abiesボランティア活動
第16回・演習林利用者説明会
4. 8 月度 Abiesボランティア活動 募集案内 予告
お月見研修会
5. 10 月度 Abiesボランティア活動 募集案内 予告
生態水文学研究所 (旧愛知演習林) 研修会

5 月度 Abies ボランティア活動

森林博物資料館研修と清掃、春の研修会の聴講

森林博物資料館研修と清掃および春の研修会の聴講を平成23年5月23日(月)に行いました。岩崎(寿) 恵、石松夫婦、長谷川、石川夫婦(敬称略)の7名の参加です。午前10時に集合して森林博物資料館研修と清掃作業、午後は春の研修会の聴講です。曇り空ですがなんとか帰りまで雨に降られずに済みました。

従来、森林博物資料館は清掃だけを行っていましたが、せっかく中を見ることができる



清澄寺にあった二番スギの円板

機会なのに清掃作業だけでは勿体ないことと、この資料館の案内や解説を演習林から頼まれた時のための勉強ということで、テーマを決めて皆で研修をすることにしました。

今回の研修内容は 1.年輪と樹木の幹の構造、2.千葉演習林の樹木の種類と分布の 2 件です。

年輪と樹木の幹の構造については、資料館に入ると正面に大きなマツやスギの断面の丸太が展示してあるので最初のテーマとしました。

千葉演習林の樹木の種類と分布については千葉演習林林相図で解説されました。林相図には一般の地図の内容に加えて樹木(森)の種類と分布が色分け表示されています。最新版(2005年)に加えて明治時代などの古い時代の林相図なども掲示されていますので、林相の変化なども勉強できました。

研修は 30 分位で終りとなり、その後清掃にかかりました。お昼までにすっかりきれいになりました。

昼食に恒例のカレーライスで清澄の食堂で食べ、午後 1 時から清澄講義室で春の研修会を聴講します。この研修会は前には造林研修会といわれたもので、千葉演習林の職員の皆さんの学会などでの報告、奨励研究報告・計画、その他の発表会です。年 2 回、春と秋に行われます。

この研修会を聴講して演習林の研究内容を知ることは、自分の勉強になるだけでなく、今後、Abies としてどのような形でどこに手伝いができるかの参考となります。

今回は総計 11 項目の発表がありましたが、新しい項目として「着花量の少ないスギ品種の非赤枯れ性溝腐病の抵抗性」と「房総半島南部におけるヒノキ漏脂病の実態に関する研究」、富士演習林での技術職員研修報告がありました。



春の研修会

5 月度 Abies ボランティア活動

猪ノ川林道 自然観察会

“猪ノ川林道自然観察会”を平成 23 年 5 月 27 日(金)におこないました。当日は雨が降るとの予想でしたが、終日曇り空で何とか雨に降られずに済みました。参加者は岩崎(寿) 中原、鷺津、石川夫婦(敬称略)の 5 名です。

猪ノ川林道は春と秋の一般公開のサポート活動でおなじみの場所ですが、他の時期にあまり歩いていないので、年々時期をずらして歩くことにしています。最終的には年間を通して、自然や生き物のデータをそろえることができればと思っています。

10時に清澄作業所に集合して、職員の村川さん運転の演習林車で郷台林道側から猪ノ川林道へ向います。途中下車して以前 Abies で植えたオニグルミの苗の生育状況を確認しました。かなりいっぱい植えたつもりでしたが、現在残っているのは2本だけでした。

最初は加勢林道入口まで車で送ってもらってそこから郷台作業所まで歩く予定でしたが、黒滝手前のゲートの橋が工事中でこの先は車で行けないので、この場所で降りてもらい歩き始めます。

その先黒滝を経て加勢林道入口まで歩き、戻って自然観察をしながら、新田で昼食、郷台作業所に着いたのは14時半頃でした。郷台作業所へは職員の藤平さんに車で迎えに来ていただき清澄作業所に到着して解散になりました。村川、藤平さんお二人にお手間をかけて申し訳ありませんでした。お礼申し上げます。

途中観察された生き物で記憶のあるものは次のとおりです。

観察できた生き物

バйкаウツギ(花)、ハコネウツギ(花)、ヤマボウシ(総苞片)、アリドオシ(花)、ヤマツツジ(花)、ウワバミソウ(花)、エゴノキ(花)、ジャケツイバラ(花)、マルミノヤマゴボウ(花)、ドクウツギ(実)、モミジイチゴ(実)、ヒメバライチゴ(実)、ヤブヘビイチゴ(実)、エンコウカエデ(翼果)、フサザクラ(若葉)、コクサギ(若葉)、アワブキ(若葉)、シラキ(若葉)、ケイワタバコ(若葉)、ツガ(新芽)、クジャクシダ、ゲジゲジシダ、ヤブソテツ類、キヨスミイトゴケ、キョン、テン?、ニホンジカ、ウグイス(声)、モリアオガエル(卵)、カジカガエル(声)、ジャコウアゲハ、アオスジアゲハ(羽化)



ジャケツイバラの花

6月度 Abies ボランティア活動

第16回・演習林利用者説明会

岩崎 寿一

平成23年6月14日(火)におこなわれた第16回千葉演習林利用者説明会に参加致しました。今年の発表件数は29項目で発表者は18人、48名の参加者がありました。

Abiesの参加は平成18年以来6回目になります。Abiesからは石川(輝)、石松夫妻、恵、長谷川、中山、岩崎(寿)(敬称略)の7名が参加し、「千葉演習林ボランティア会 Abies 活動紹介」を岩崎から発表させて頂きました。(「活動紹介」を添付)

利用者説明会とは、千葉演習林を利用して調査研究をしている方々がその内容を説明し発表する機会です。私も Abies 活動中、一般の人から「演習林っていったい何しているところ？」と聞かれることが良くありますが、このような発表会を聴講させて頂くと、説明する事が出来るようになると思っています。又興味のある話もたくさん聞けるのでお勧めです。

17時から夕食を取りながらの懇親会になりました。調査研究をしている方々の情熱や苦労話など興味深い話が聞けて、大変楽しい懇親会でした。

翌15日(水)の千葉演習林見学会には石松夫妻、長谷川、中山、岩崎(寿)(敬称略)の5名で参加致しました。今回の参加者は Abies 会員だけだったので、特別に今まで行ったことのない所を案内していただきました。

南沢の100年生スギ人工林皆伐地を尾根筋から見学しましたが、あまりの急傾斜で有ることと、すでに新しいスギの苗が植栽されていたことに驚きました。今年の春の研修会で作業の安全を検討する為のビデオを見せて頂きましたが、まさにここが、あの現場の作業を写したものだそうです。山仕事の安全対策は千差万別で有ることを理解しました。

小屋ノ沢の雨による崩壊地を見て、池ノ沢の皆伐予定地を丘の上から遠望しました。

千葉演習林は高齢人工林が多くなり、新成長試験地を作る為に人工高齢林を伐る作業も行っているとのこと。

四郎治の天然更新試験地を案内して頂きました。立派な森になるには長い年月がかかりそうに思いました。魚骨状間伐と云う手法で間伐をしている試験地も有りました。魚の骨の様に斜めに幾筋もの間伐跡が確認出来、興味深く感じました。

珍しい所をご案内頂き大変勉強になりました。又楽しく見学が出来ましたことお礼申し上げます。

利用者説明会、Abies 発表内容

原文はスライド形式で発表しました。さらに加えて Abies の年間計画の内容がありますが、この部分は掲載を省略しました。



利用者説明会の様子

平成23年度千葉演習林ボランティア会 Abies 活動紹介

平成23年6月14日

千葉演習林ボランティア会 Abies 岩崎 寿一

1、千葉演習林ボランティア会 Abies

千葉演習林ボランティア会 Abies は千葉演習林で活動しているボランティア団体です。

Abies とは千葉演習林のシンボルツリーである「モミ」の学名を拝借したものです。

平成16年に発足し今年で8年目になり、現在の会員数は40名です。昨年度の活動日数は延41日、参加人数は183名でした。

2、主な活動

千葉演習林主催行事のサポート（春、秋の一般公開、高校生ゼミナール他）

演習林研修会、利用者説明会などの聴講、及びシカ調査参加。

歩道補修、苗畑除草、建物清掃等の作業

会員対象の演習林内樹木や草本の観察会と研修会。

演習林見学者の案内

Abies 通信の発行（年6回発行ホームページに掲載）

3、トピック

平成21年6月菖蒲沢に移植した菖蒲の苗が根付き、今年5月に雑草の除去を致しました。菖蒲沢の菖蒲は一度絶滅しましたが、麻綿原のお寺に子孫が生き残っていることがわかりその苗を分けていただき札郷作業所と会員の庭で増やし再びここに移植したものです。菖蒲沢は以前より水量が多く、オタマジャクシやイモリまたトウキョウサンショウウオの卵などたくさんあることが分かりました。現在この菖蒲はシカ柵で囲って保護していますが、絶滅の原因がシカの食害に拠るものなのかどうか確認したいと思っています。

4、今年度の活動計画

教育研究サポート、森林保全作業、観察会に加え、本年は生態水文学研究所(愛知演習林)研修を予定しています。荒廃地から出発し、現在では全域が緑に覆われているという演習林を見学する事に大きな期待を抱いていると共に、ボランティア会「シデコブシの会」との交流も楽しみにしています。

5、最後に

千葉演習林ボランティア会 Abies は従来の作業に加えて、「千葉演習林の教育研究や森林を一般人に伝える」と云う事も大きな役割だと考えています。千葉演習林と市民を繋ぐ架け橋になれるよう会員各自一層努力したいと思っています。

8 月度 Abies ボランティア活動募集案内 予告 お月見研修

会員の皆さんが楽しみにしているお月見研修を 9 月 10 日（土）から 11 日（日）に札郷宿舎で行います。例年のとおり 10 日夜にバーベキューをしながら懇談し月の出を待ち、次の日は近郊の自然観察で演習林の山を歩くという内容です。後日に詳細募集案内をいたします。

10 月度 Abies ボランティア活動募集案内 予告 生態水文学研究所（旧愛知演習林）研修会

愛知県瀬戸市にある東京大学 生態水文学研究所（旧愛知演習林）研修会を 10 月 15 日（土）から 16 日（日）に行います。後日に詳細募集案内をいたします。ご期待ください。

東京大学 生態水文学研究所のご紹介

21 世紀は水の世紀と言われています。生態水文学研究所は、森と水の関係、さらにはそれを取り囲む生態系、社会との関係をテーマに研究しています。

生態水文学とは、生態学と水文学を融合した学問分野で、生態系や養分、土砂のダイナミックな変動を水・熱・エネルギーの循環や収支に注目して研究する学問です。

瀬戸丘陵は古来からの陶器生産の為樹木は全て伐採され、自然再生が困難な状態になってしまっておりました。生態水文学研究所はこのような荒廃地から出発し森林の復旧を進めた結果、88 年経った現在では全域が緑で覆われ美しい森になっています。

森からの収奪の歴史と再生への努力などを実際に見る事で他の演習林とは違った感動が得られることと思いますので、多くの方の参加をお待ちしております。



森林がよみがえる過程の長い間、森林から流れてくる水の観測をずっと続けている白坂量水堰

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.34

* 事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3 - 1 - 2 - 102

石川 輝雄

* 東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321